

2019年度 前期授業評価アンケート 顕彰科目担当教員コメント

教員名	長澤 哲也
顕彰科目名	相談援助演習Ⅱ 3
<p>●授業運営において工夫されている点</p> <p>演習においては、ソーシャルワークを意識した中で、考えること、感じること、気づくことをテーマにしています。</p> <p>考えることの内容は、自分と他者です。ソーシャルワーカーを目指す者として、自己理解と他者理解を丁寧に行っています。そして最終的に「自分の取扱説明書」を作成します。この取扱説明書は個人としてのものと専門職としてのものの2種類を作成することで自己覚知の幅を広げることを意図しています。</p> <p>感じることの内容は、コミュニケーションです。ソーシャルワーカーを目指す者として、自分や他者との感情交流を感じてもらうことをロールプレイの中で丁寧に行っています。具体的には18種類の感情を感じ取り言語化していくものです。</p> <p>気づくことの内容は、事例検討です。ソーシャルワーカーを目指す者として、その人がどのような状況に置かれているのかということのアセスメントに重点を置きながら丁寧に行っています。限られた情報の中で、視点を変えることで見えてくること、その人のイメージが変わる瞬間などを体験的に気づいてもらうことを意図しています。</p> <p>このゼミでは、教員は材料の提供と環境づくりの役割が中心です。学生同士の相互作用がプラスに働く媒介としての役割を意識しています。</p> <p>●今後取り組んでいこうと考えておられることなど</p> <p>演習は生ものだと感じています。予定調和を意図せず、仕掛けない仕掛けの中で学生たちが主体的に学ぶ環境づくりをさらに意識していきたいと思っています。</p>	